

本日、ここに平成28年市議会6月会議が開会をされるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、4月に発生した「熊本地震」は、震度7の激震が2度発生するという観測史上初の事態となり、熊本、大分の両県にわたり甚大な被害をもたらしました。この地震により、多くの尊い命が失われたことに対し、深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々や避難生活を送られている方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災地では、今なお余震が続いておりますが、一刻も早い終息と、できる限り早い復興、復旧を願うものであります。地震対策は、怠りない備えが何より重要であります。改めて、危機意識を高め、万一の場合に備えた危機管理体制の一層の充実、強化が必要であると、強く認識をしたところであります。

次に、4月17日と5月3日から4日にかけて、日本海の低気圧が急速に発達した影響により、全国的に台風並みの暴風に見舞われました。本市においても、お一人が転倒し、重傷を負ったほか、農業施設や農産物、公共施設等に被害が発生したところであります。小規模なものにつきましては、速やかに対応をいたしました。なお、市営白峰墓地公苑においては、倒木により、墓石10基が損壊をしたため、今議会において、関係予算を計上いたしており、お盆までの復旧を目指し、対応をしてまいりたいと考えております。

次に、最近の我が国の経済情勢と本市の企業活動についてであります。

先月、内閣府が発表いたしました1月から3月期の国内総生産、GDPの速報値が前期比で0.4%増加し、2期ぶりのプラス成長となりました。しかしながら、円高の進行や海外経済の減速を背景に企業の慎重姿勢が強まっており、設備投資の落ち込みが目立つなど、景気は足踏み状態との見方が強まっております。

そうした中ではありますが、北陸の景気については、回復基調にあると言われております。本市の立地企業におきましても、この3月期決算において、高松機械工業株式会社が売上高で、過去最高を記録するなど、総じて良好な水準となっております。また、先月には、株式会社ジャパンディスプレイの新工場が稼働し、本格量産に向けた試作を開始したところであり、今後の地域経済の好循環を大いに期待をしているところであります。

次に、一昨日の4日に、「白山白川郷ホワイトロード」が全線開通をいたしました。例年より積雪が少なく、平成10年に次いで、過去2番目の早さの開通となり、11月10日まで通行ができる予定であります。昨年は、通行料金の引き下げと、新幹線開業効果により、通行台数が大幅に増加したところであり、今シーズンも多くの方に白山の雄大な自然を堪能していただけるよう、白山の魅力発信に努めてまいります。

次に、先月9日、本市出身の作家、夜釣十六さんが「太宰治賞」を受賞されました。この賞は、小説の新人賞とも呼ばれ、今回、本市出身者として、初の受賞となりました。芥川賞の本谷有希子さんに続き、本市から、またひとり若手の有望作家が輩出をされ、大変、喜ばしく思う次第であります。夜釣さんの今後のさらなるご活躍を祈念するところであります。

次に、手取川の濁水対策についてであります。

雪解け後、新たな崩落が心配をされましたが、4月19日に林野庁が実施をしたヘリコプターによる崩落現場の調査では、一部に昨年散布した凝固剤の流出があるものの、新たな崩落は確認されませんでした。応急対策工事に一定の成果が見られ、石川森林管理署においては、引き続き、土留工と凝固剤の散布を行うことといたしております。なお、今年度の対策工事については、来月中旬以降、地盤を安定化するための緑化工事などに着手するとのことであり、本市におきましては、引き続き、状況の把握に努めるとともに、濁水が市民生活に及ぼす影響を

注視してまいります。併せて、本格的な対策について、強く要望を行うことといたしております。

次に、選挙権年齢が18歳以上に拡大され、初の選挙となります参議院議員通常選挙が来月10日に執行されます。新たな有権者となる高校生や大学生などへの選挙啓発につきましては、昨年より、高等学校において、新たな選挙制度の教材を活用し、啓発授業を行っており、本市においても、中高校生を対象に模擬投票の出前講座を実施するなど、意識の高揚に努めてきたところであります。さらに、今回の参議院議員通常選挙においても、「明るい選挙推進協議会」による商業施設での街頭啓発や金城大学及び市内三つの高等学校への啓発物品の配布など、若年層の投票率の向上と明るく公正な選挙の推進を図ることとしており、多くの若者が投票所に足を運び、一票を投じることを期待するものであります。

それでは、最近の市政の状況についてご説明を申し上げます。

はじめに、親善友好都市との交流についてであります。

2年に1度開催される「お茶まつり」への招待を受け、去る4月26日から29日にかけて、中国・溧陽市を訪問してまいりました。徐華勤市長との懇談や「お茶まつり」の開幕式を通し、友好の絆を深め、さらなる交流の広がりを確認してまいったところであります。また、去る5月8日から10日にかけて、オーストラリア・ペンリス市からカリン・マキューン市長をはじめとする訪問団がお見えになりました。昨年、ペンリス市の200年祭でお会いした方々との旧交を温めるとともに、松任グリーンパークにおいて、オーストラリア原産の樹木「ブラッシノキ」の記念植樹を行うなど、さらに友好を誓ったところであります。

次に、昨年度より策定を進めております「第二次白山市総合計画」については、4月22日に白山市総合計画審議会より、将来都市像や基本理念、まちづくりの目標などを示す「基本構想」について、答申をいただいたところであります。内容につきましては、平成29年度から平成38年度までの10年間を計画期間とし、将

来都市像、「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」の実現を目指すものであり、今議会におきまして、ご審議いただくことといたしております。なお、各種施策を体系的にまとめる「基本計画」については、年末の策定に向け、全庁挙げて、鋭意、取り組んでまいります。

次に、「まちづくり会議」についてであります。

去る5月31日に千代女の里俳句館において、今年度、第1回の「まちづくり会議」を開催いたしました。今回は、女性協議会や各種団体女性連絡協議会などから代表の方々にご参加をいただき、子育て支援や防災対策など、女性の視点から、市政への提言や女性の活躍に向けた意見などを拝聴させていただいたところであり、今年度のまちづくり会議については、各種団体を対象に月1、2回程度の実施を予定しており、特に女性や若い人たちの参加の機会を増やしてまいりたいと考えております。こうした各種団体の皆様からの貴重な提言や意見は、昨年度までと同様、今後の施策に出来る限り生かしながら、引き続き「対話と参加」の市政運営に努めてまいる所存でありますので、ご理解を賜りますとともに多くの方々のご参加を願うものであります。

次に、今年度新たに取り組む「市民提案型まちづくり支援事業」についてであります。

先月まで、募集を行ったところ、22件の応募がございました。内容といたしましては、子どもの健やかな成長を願う事業やふるさと教育による地域活性化推進事業などの提案をいただいております。採択結果については、審査会による審査を経て、6月中旬に各団体へ通知する予定であります。今回は、制度創設後、間もない時期の募集であったため、応募を見送られた団体も見受けられたことから、より一層、制度の周知を図り、さらなるニーズの掘り起しを行うため、8月に2次募集を行うことといたしております。

次に、白山ユネスコエコパークについてであります。

今年3月の拡張登録承認を受け、先月10日に、本市において、記念シンポジウムを開催いたしました。ユネスコ本部のエコパーク担当チーフのノエリンさんの基調講演のほか、構成団体による取組み事例が報告をされ、各自治体のユネスコエコパークに対する熱意と意気込みを強く感じたところであります。今後は、環白山地域がさらに連携を深め、ユネスコが推奨する管理運営計画の作成に向け、検討を進めることとしており、本市の白山手取川ジオパークとの相乗効果も図りながら、持続可能な地域づくりに努めてまいりたいと考えております。

次に、道の駅「(仮称)白山」の駅長候補者についてであります。

公募を行ったところ、全国各地から37名の方に応募をいただきました。選考の結果、七尾市出身の和田善亮さんを駅長候補者に決定し、今月1日から道の駅開設準備室で勤務をいただいております。和田さんには、民間企業で培った豊富な知識と経験を活かし、「道の駅」の管理運営組織の設立や地域振興策の企画立案などを担っていただくことといたしております。なお、ハード整備につきましては、現在、国と「道の駅」用地の取得に向けた協議を行っております。協議が整い次第、用地取得を進めることとしており、その後順次、造成、建築工事に取り掛かっていきたいと思っております。

次に、「白山開山1300年記念事業」についてであります。

白山は、来年、開山1300年の節目を迎えることから、本市においては、今年度より、記念事業のテーマであります「次代へつなぐ1300年」を広く浸透させるため、積極的なPR活動を展開しているところであります。その一環として、「白山」を模ったロゴマークを作成いたしました。「いいとこ白山」をキャッチフレーズに、本市の素晴らしい歴史や文化を発信し、ロゴマークの活用効果を高めていきたいと考えております。また、7月から9月の期間には、職員がロゴマークをプリントしたPRポロシャツを着用して業務を行い、事業の周知を図ることとしております。そのほか、記念のピンバッジやTシャツの販売、さらには、公用車はもとより、市内の企業向けに、自動車用マグネットシートを配布す

るなど、機運の醸成に努めてまいります。さらに、8月の「山の日」にあわせ、事業の成功を祈願する「白山登山」を実施いたします。私も参加し、「白山の1300年の歴史」と「新たな100年」に思いを馳せ、本市のさらなる発展を祈念してまいりたいと思っております。なお、来年度実施する「灯りでつなぐ1300年事業」のイベントとして、この夏、本庁舎の横の市民交流センターなどにおいて、太陽光発電を利用したLEDライトによる「灯り」の演出を行う予定であります。さらなるイベントの盛り上がりを期待するところであり、多くの市民の皆様が記念事業に参加いただけるよう、事業の展開を図ってまいりたいと考えております。

次に、「白山総合車両所」についてであります。

JR西日本に対し、要望しておりました「白山総合車両所」の施設見学が、4月26日から開始され、年間を通して、整備工程を見ることができるようになりました。見学は、火曜日、金曜日の週2回、1日2組を限定に実施をされ、当面は、白山市内の団体のみを対象に試験的に行われております。夏頃からは、市外の団体の受付けも開始するとのことであり、これを機に、全国からさらに多くの鉄道ファンが白山市へ足を運んでくれるものと期待をしております。本市は、新幹線と在来線、さらには、北陸鉄道の車両工場が立地する全国唯一の鉄道都市であります。今後も引き続き、「鉄道のまちづくり」を推進してまいり所存であります。

次に、北陸新幹線「(仮称)白山駅」についてであります。

去る4月23日に開催いたしました「白山駅建設期成同盟会」の総会には、県知事をはじめ、県選出国會議員、県議會議長、地元選出の県議會議員、さらに今回、加賀観光推進議員連盟及び加賀地域連携推進會議の代表の方にも来賓として、ご出席をいただき、総勢300名の皆様にお集まりいただきました。情勢報告では、年内を目標に検討が進められております敦賀・大阪間のルート決定に合わせ、「白山駅」を決定しなければならないとの発言があったところあります。

私も総会終了後、今日まで、国会議員をはじめ、関係する方々に広くお願いをいたしているところであります。なお、期成同盟会は、7月下旬に中央要望を行う準備を進めており、議員各位におかれましても、引き続きのご支援をお願いするものであります。

次に、在来線の利便性の向上についてであります。

松任駅では、新たな企業の進出や新幹線開業効果などにより、また、松任駅南立体駐車場の1日利用券配布などの効果もあり、昨年度の一日平均乗降者数が対前年比14%増の約7,000人と大幅に増加をいたしております。その一方で、駅構内の「みどりの窓口」や券売機周辺では、きっぷや定期券購入の際に混雑が見られ、ご不便をおかけしている状況であります。このため、先月26日にJR西日本金沢支社へ改善の要望に伺ったところ、お盆前までに、必要な対策を講じるとの回答をいただいております。また、北陸新幹線の建設工事に伴い、移転となります加賀笠間駅東口の駅舎につきましては、バリアフリーに配慮したトイレを併設することとし、今議会に設計費用を予算計上いたしております。今後とも、鉄道利用者の利便性の向上に鋭意努めてまいります。

次に、障害者差別解消法の推進についてであります。

4月に障害者差別解消法が施行され、本市では、本庁舎1階の障害福祉課に新たに相談窓口を設置し、「障害を理由とする差別」に関する様々な相談に対応いたしております。さらに、地域における一層の理解を深めるため、「障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、差別解消のための支援を図ることとしております。また、今回、補正予算に計上しております「共生の地域づくり事業」につきましては、自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、障害のある当事者が活動しやすい地域社会を構築するため、モデル地区による「共生の地域づくりプロジェクト」の推進や地域づくりリーダーの養成など、共に生きる社会の実現に向け、取組みを進めることといたしております。

次に、がん検診における胃カメラ検査の実施についてであります。

今月から、「白山ののいち医師会」管内の22の医療機関において、胃カメラによる胃がん検診が受けられるようになりました。検査結果についても、医師会に協力をいただき、定期的に回収した検査データを複数の医師が判定する態勢が整い、受診者に対し速やかに通知がなされることとなりました。今後とも、様々な取組みを通して、がんの早期発見、早期治療に繋げていきたいと考えております。

次に、投票所の変更についてであります。

今回の参議院議員通常選挙に際し、河内地域の「内尾道場」及び鳥越地域の「阿手生活改善センター」の二つの投票所を廃止いたします。「内尾道場」は「かわち保健センター」へ「阿手生活改善センター」は「鳥越公民館」へそれぞれ統合し、代替措置として、投票所へ車での送迎を行います。そのほか、「出城公民館」「北部農村健康センター」「旧美川公民館」「あいわ保育園」及び「吉野谷、鳥越の両市民サービスセンター」の六つの投票所については、施設の老朽化や建替え、移転に伴い、それぞれ他の施設もしくは移転先の施設に変更となります。詳細につきましては、広報やホームページ、チラシ等で周知するとともに、投票所の位置を記した入場整理券を発行いたしますので、関係する有権者の皆様におかれましては、投票所へお越しの際に、ご確認いただきますようお願いを申し上げます。

次に、平成27年度の決算見込みについてであります。

5月末をもって、出納閉鎖となり、現在、計数を整理中であります。一般会計の歳入においては、国、県支出金及び市債の借入額等が確定をいたしました。また、歳出においては、合併特例措置、縮減開始1年目の厳しい財政状況の中、経費の節減と事務事業の効率的な執行に努めた結果、実質収支額が概ね10億円を超える見込みであります。引き続き、健全財政の維持に努めてまいります。



それでは、提案いたしました諸議案について、ご説明申し上げます。

提出案件は、補正予算案 1 件、条例案 3 件、事件処分案 3 件、報告案件 1 4 件の計 2 1 件であります。

はじめに、議案第 7 0 号の平成 2 8 年度補正予算案についてであります。

一般会計につきましては、補正予算額 6 億 2, 4 0 0 万円余となるものであります。その主なものといたしましては、総務費では、集会所の新築等に係るコミュニティ助成事業費などを計上するほか、民生費では、臨時福祉給付金などを計上し、衛生費では、松任海浜温泉加圧給水ポンプ更新事業費を計上するものであります。また、農林水産業費では、県営土地改良事業負担金などを計上するほか、土木費では、社会資本整備総合交付金や道整備交付金の採択に係る道路整備事業費などを計上し、教育費では、いしかわ道徳教育推進事業費を計上するものであります。さらに、災害復旧費では、暴風被害に係る公共施設の復旧事業費を計上いたしております。

次に、議案第 7 1 号から第 7 3 号までの条例案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」につきましては、公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙に関する公営単価が見直されたことにより、関係規定を改正するものであり、「白山市自転車等駐車場条例」につきましては、小舞子駅利用者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場を整備したことにより、関係規定を改正するものであります。

次に、議案第 7 4 号から第 7 6 号までの事件処分案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「町の名称の変更」につきましては、曾谷町土地区画整理事業の施行に伴い、曾谷町、熱野町及び道法寺町の一部を「陽羽里一丁目」及び「陽羽里二丁目」として新たな町を設置すること又はこれらの町の一部を名称変更することについて、また、

「第二次白山市総合計画基本構想の策定」につきましては、平成29年度から平成38年度までの新たな10年間の総合計画の基本構想を策定するため、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

次に、報告第1号から第14号までの報告案件について、その主なものをご説明申し上げます。

補正予算の専決処分の報告につきましては、平成27年度の一般会計補正予算におきまして、国、県支出金や市債等の額の確定、各特別会計への繰出金の調整のほか、事業の完了に伴う決算見込みをもとに15億円余の減額補正を行ったものであり、その結果、平成27年度一般会計予算の総額は517億2,000万円余となったところであります。

次に、国民健康保険、介護保険、簡易水道事業特別会計など、それぞれの特別会計につきましては、事業費の確定に伴う減額補正、基金積立金の増額及び財源更正等を行ったものであります。

次に、平成27年度の一般会計及び下水道事業会計における繰越明許費繰越計算書等につきましては、それぞれの事業について繰越額並びに財源内訳を議会に報告するものであります。

また、白山市土地開発公社の平成27年度経営状況につきましては、地方自治法の定めにより、議会に報告をするものであります。

以上をもちまして、6月会議に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願いいたします。